

◎Memo (福島第一原発吉田昌郎元所長7/9追悼集会 2015年7月9日1830～ アルカディア市ヶ谷)
吉田昌郎元所長のリーダーシップで、あの原発危機は乗り越えられた

小川和久 (静岡県立大学特任教授)

◎ 東日本大震災・福島第1原発事故は、まだ終わっていない!

1) 存在しなかった首相官邸の司令塔チーム

- ・ 危機発生と同時に、官邸に10人規模の司令塔チームを設置——危機管理庁 (日本版FEMAがない場合)
- ・ ヘッドは危機管理専門家で、かつ自衛隊、警察、消防、海上保安庁などの運用に知見を持つ人材

2) 初動 (同時進行) 3時間以内に完了 (NYのジュリアーニ元市長が同じ発言)

- ・ 情報収集 (全般、細部)、資源 (人的、物的) の掌握、部隊の展開・投入 (救援)

3) 危機管理の要諦は「拙速」→「巧遅拙速」「巧遅は拙速に如かず」の略 (孫子)

- ・ 上手で遅いよりも、下手でも速いほうがいい、多少は雑であっても対処しないよりはるかにまし

4) 津波と大火、原発事故は人智で克服できる

- ・ 津波避難施設
- ・ 空中消火による初期消火
- ・ 備えあれば憂いなし——原発事故

5) 東京電力福島第1原発事故——吉田所長のリーダーシップでかろうじて被害局限

- ・ 装備の不備は対策の不在
- ・ コンクリートポンプ車はなぜ遅れたか

6) なぜ、このような話をするか→走りながら態勢を強化しなければならない

- ・ 巨大余震の可能性、首都直下地震、東海・東南海・南海地震
- ・ 東京の抗堪性向上、副首都の整備、防災都市計画、安全のための道路整備
- ・ 健全なる公共事業と国土再開発のビジネス化→復興には世界から資金調達できる人材が必要

7) 形式に流れる日本の危機管理 (無責任体制)

- ・ 原発警備の杜撰さ (ウィキリークスで暴露)
- ・ ITのセキュリティも帳簿で済ます

8) 世界に通用しなければ危機管理は不合格 (瓦礫処理を国がやる決定に2カ月、世界の笑い者に)

- ・ 危機管理には民心の安定も含まれる→これも拙速が必要
- ・ なぜ5年間のベーシックインカムを導入しない→例: 大人12万円、18歳以下5万円、住居無料
- ・ 集団農場、集団漁業、商業団地、工業団地から再起を図る
- ・ ベーシックインカムがあれば計画が立つ。希望を失わないで済む。